



[ホーム](#) > [ピックアップニュース一覧](#) > 第1回「男女共同参画からみた多様なキャリア支援講座」を開催

## 第1回「男女共同参画からみた多様なキャリア支援講座」を開催

2011/11/02

平成23年10月26日（水）観光学部棟T-101教室にて、「男女共同参画からみた多様なキャリア支援講座」の第1回として、文部科学省生涯学習政策局長の板東久美子様によるご講演をいただきました。

男女共同参画社会が叫ばれて久しい中ですが、まだ多くの女性が、出産、子育てを機に固定的選択を強いられており、その一方で社会の変化に伴い、日本人の働き型は多様になりつつもあります。

本講座「男女共同参画からみた多様なキャリア支援講座」は、そのような社会情勢の中で多様に生きるための人材育成を目的とし、各界でご活躍の方にロールモデルとしてお話を伺うシリーズ講座です。

当日は教職員、学生が多数参加し、板東局長のキャリアの歩みをお聞かせいただきながら、働く上での転機や周りの支え、大事に考えている事などをお話いただきました。

その後、学長室へと会場を移し、講演に参加した学生や女性教職員を中心としたメンバーによる座談会を行い、様々な生き方・働き方について意見交換を行いました。

この講座は7回シリーズで行われます。詳しくはこちらをご参照ください。

[http://www.wakayama-u.ac.jp/post\\_366.html](http://www.wakayama-u.ac.jp/post_366.html)

また、参加した学生から感想を頂きました。

【教育学部 播磨正弥さん】

板東さんや山本学長のお話を聞いて、男女共同参画を考える際には周囲と話し合うことが大切だということ学びました。そして、人を苦しめるような偏見を生まないように私たちの世代が何をしなければならぬのかということを考えていきたいと思います。

【教育学部 田中美穂さん】

子どもを産んで、その後もずっと社会で働いている坂東さんがとても輝いて見えました。でも、自分には仕事と家庭の両立はできるのだろうかと思直ってしまいました。

男女雇用機会均等法の改正などで、女性の社会進出が進み、制度的な面では男女の格差は減りつつあるものの、日本人の「女性はこうあるべき」という観念はなかなか消えるものではないし、女性について固定的な考え方を持っている人もたくさんいると思うからです。

男女共同参画の問題について、これからも考えていきたいと再認識できた講演会でした。

【教育学部 西田喜一さん】

板東さんのお話を聞いて、今日の社会の男女共同参画のあり方について改めて考えさせられました。

その一方で、現在は母子家庭や経済的に困窮する家庭など様々な家庭があります。家庭環境やその他様々な要因によって、社会参画が思うようにできない人たちについても考えていかなければならないと思いました。



[前の記事へ](#)

[次の記事へ](#)

[このページのTOPへ](#)

[マークについて](#)

和歌山大学に関するお問い合わせはこちらまで

| 所在地：〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 | 電話番号：073-457-7007 | E-mail：  
[koho@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:koho@center.wakayama-u.ac.jp) |

Copyright ©2010-2015 Wakayama University